

【詳説「新たなクールジャパン戦略」】

20兆円市場を目指す日本コンテンツの挑戦

～世界市場規模は想定の2倍超、日本勢巻き返しの要諦～

— 講師 —

PwCコンサルティング合同会社 Strategy& パートナー 森 祐治 氏
マネージャー 田島 秀平 氏

日時 2024年11月26日(火) 午後1時～2時30分
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信 (2週間、何度でも視聴可)
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

日本政府が打ち出した「新たなクールジャパン戦略」。レポート(再起動)を旗印に、2022年に4.7兆円だった日本コンテンツの海外市場規模を、2033年には約4倍の20兆円に拡大する目標を打ち出した。ただ、“元祖”クールジャパン戦略は一般の目から見て大成功したとは言えず、「クールコリア」を掲げた韓国には同じ期間で大きく水をあけられた。こうした状況で果たして20兆円という目標は達成可能なのだろうか。

コンテンツ輸出の領域で出遅れ感のある日本勢が巻き返しを図って新たなクールジャパン戦略を成功させるための要諦、そしてコンテンツ輸出の成功が日本全体にとってどのような意味合いを持つのかを詳説する。

1. PwCによる「新たなクールジャパン戦略」の解説

- ・「新たなクールジャパン戦略」は「レポート(再起動)」と位置づけられる
- ・クールジャパンはコンテンツのみにあらず
- ・基幹産業と位置づけられたコンテンツ産業

2. 日本コンテンツの海外市場 4.7兆円の真実

3. 新たなクールジャパンを成功に導くためには

4. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 森 祐治(もり ゆうじ)氏

通信、インターネットビジネス、メディア・エンタテインメント、エレクトロニクス、新規事業創出、デザインコンサルティング、未来予測、マーケティング、アライアンス設計の分野を中心にコンサルティング経験を多く有する。日本動画協会『アニメ産業レポート』で「海外動向」を長年にわたって執筆してきた。

PROFILE 田島 秀平(たじま しゅうへい)氏

外資系ITベンダにてITコンサルタントとしてIT戦略の策定や業務改善、PMOなどに従事。その後、国内大手のアニメーション制作会社に移り、経営戦略担当としてグループ全体の成長戦略や資本政策の策定、新規事業開発などを担当。デジタルテクノロジー、コンサルティング、エンタテインメントの各領域における知識と実務経験を豊富に有する。

